

市立旭川病院 医療連携NEWS



患者さん中心の医療を行い、市民から信頼される病院を目指します。

No. 6 2013/1/16

第7回 クリスマスコンサートを開催しました ～12月20日 木曜日～

あけましておめでとうございます。光陰矢の如しということで、平成も今年で25年を数えます。

病院や診療所をはじめとする医療関係者の皆様におかれましては、日頃より当院との医療連携にご協力をたまわり誠にありがとうございます。

昨年は、なかなか夏が終わらず、暑い一年という印象でしたが、終盤には非常に遅い初雪がそのまま根雪になるという史上初の珍事も発生する一年でありました。さらに、その後は雪が多くかつ非常に寒いという大変厳しい天候が、われらが故郷あさひかわを襲っております。

そうしたときでも、院内は患者さんのために温かく保たれています。冬こそ暖かい北海道の建物の中では、今回も開催されました、ボランティアの職員らによるクリスマスコンサート！！

時は12月20日午後6時40分から小一時間。演奏者達の心のこもった熱いパフォーマンスが繰り広げられ、アンコールも含めて8曲が演奏されました。普段病室にこもっている患者さん達も、この日は、看護師らをヘルパーとして従えてアトリウムホールへ集合し、生の演奏を心行くまで楽しんでいらっしゃいました。

「演奏を聴いて涙が出てきた。」という患者さんもいらっしゃいました。じっと退屈に耐え忍ぶ、あるいは痛みをこらえて我慢している、あるいは、たった一人で闘病しながら孤独に耐えている、様々な事情の下病院で過ごされている患者さんたちではありますが、音楽の癒しの力とメンバーたちの気持ちのこもった演奏に大いに励まされているのだろうと感じました。

80名ほどの患者さんと家族の皆さん。50名ほどの観客。そして17名の演奏者と約40名のボランティアスタッフからなる当院の精鋭職員たち。お疲れ様でした。楽しいコンサートでしたね。ありがとうございました。きっとまた、今年のクリスマスでも美しい音色を奏でてくださいることでしょう。



院内診療部門のご紹介

呼吸器内科

当院の呼吸器内科は平成 17 年から岡本、福居、谷野の 3 人体制で診療にあたっています。3 人とも北大第一内科で研修を受けて呼吸器専門医を取得しています。各種診療ガイドラインを踏まえてより高度で適切な医療を提供できるよう日々努力しております。入院患者の診療は東病棟 7 階の 38 床にあたっています。当科はグループ診療制で相談しながら診療方針を決めるようにしております。近年では高齢者の肺炎や肺癌の入院が多く、病床がなかなか回らないことがあります。救急車や諸先生からの紹介を受けたいのですが、対応できないこともあり申し訳なく思っています。また、肺炎が治っても嚥下障害や ADL の低下のため転院をお願いすることも多くなりました。今後ともよろしくお願いたします。外来診療担当は下記の表のとおりです。地域医療連携課を通してご予約ください。

スタッフの紹介

岡本 佳裕（平成 3 年北大卒）

当院に着任して 11 年目。気管支鏡検査や肺癌、呼吸器感染症をはじめ、呼吸器疾患全般の診療にあたっています。夜間・休日の対応を福居と交代で担当していますが、最近は年のせいか時間外の対応がきつくなってきました。

谷野 洋子（平成 7 年旭医大卒）

二人の小学生の娘を育てるママさん先生。平日日中は疲れの見える岡本、福居をしり目に入院患者の処置をどんどんこなしています。当院赴任前の 1 年半ご主人と一緒にアメリカ在住経験あり、英会話を得意としています。

福居 嘉信（平成 8 年北大卒）

当科唯一、アレルギー専門医（内科）の資格を持つ気管支喘息の専門家です。谷野先生と二人で気管支肺胞洗浄（BAL）という特殊検査をこなします。幼稚園から高校まで過ごした旭川市の医療を少しでも良くしたいと日々頑張っています。



岡本 医師



谷野 医師



福居 医師

呼吸器外来担当表

月	火	水	木	金
福 居	岡 本	福 居	谷 野	岡 本

CT, MRIなどの医療機器をどうぞご利用ください

当院では、地域医療機関との高度医療機器の共同利用を目的として、患者さんの検査等のお申込をお受けしております。検査等を適切に行い、事故を未然に防ぐため、お手数ではございますが、予約のお申込に際しては、その目的や方法について患者さんにご説明いただき、検査等の種類や対象部位等をお知らせいただけますようお願い申し上げます。

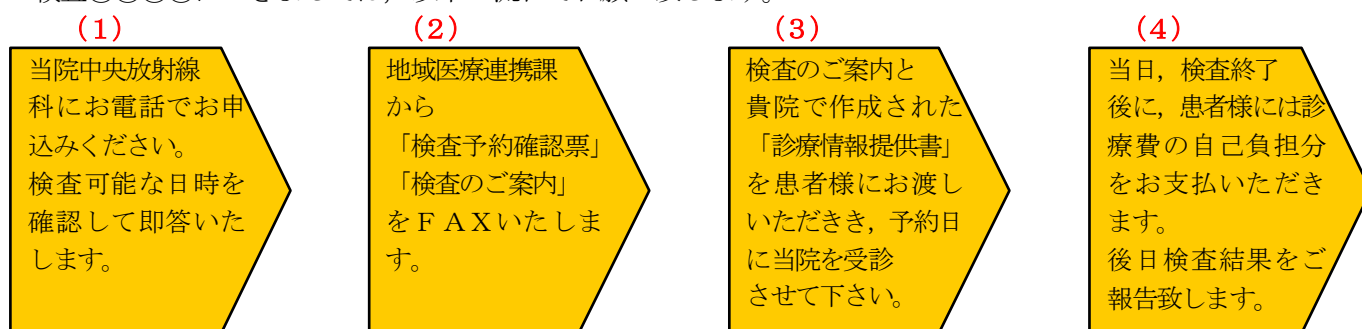
また、④につきましては、故障がちなもので昨年暮れに最新機器に更新しました。どうぞご利用ください。

1 共同利用検査等の種類

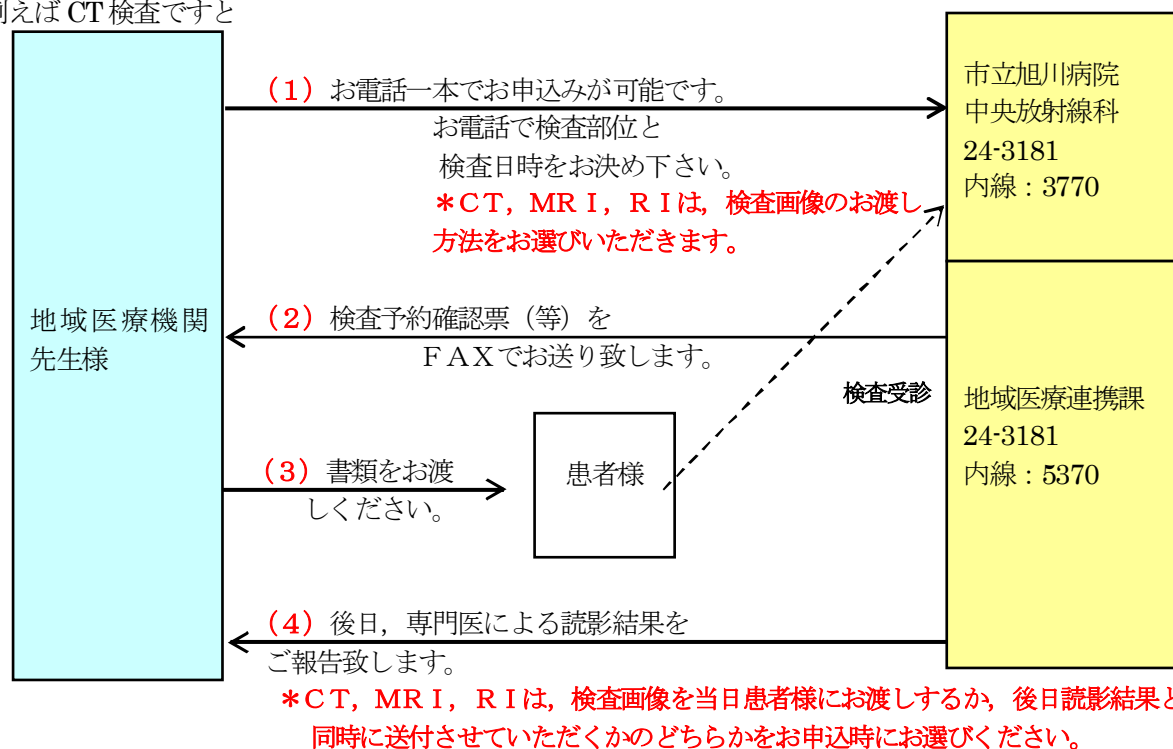
- ①CT ②MRI ③RI ④骨密度測定 ⑤放射線治療（リニアック）

2 お申込方法

検査①②③④につきましては、以下の流れでお願い致します。



例えば CT 検査ですと



⑤の放射線治療（リニアック）について：紹介予約により受診いただいた上で治療方針を決めさせていただきます。FAXにより地域医療連携課で受診の予約を承ります。

3 お申込先

市立旭川病院（代表電話）0166-24-3181

①CT（内線3770） ②MRI（内線3772） ③RI（内線3724）

④骨密度測定（内線3770） ⑤放射線治療（リニアック）（連携課 内線5370）

※ご不明な点がございましたら、地域医療連携課（24-3181 内線：5370）まで、お気軽にお尋ねください。

医師紹介 私の履歴書



耳鼻いんこう科診療部長 佐藤公輝

私がここに定着したのは、3回目の赴任からです。

実は、市立旭川病院には過去3回来ています。初回は今で言う研修医の時期で1年、2回目はいわゆる「中堅どころ」の頃合いに1年、3度目の正直で赴任したのはH6年でした。

そんなわけなので、「30年くらい前からずっとウチの耳鼻科に居る」と思い違いをしている古株の看護師がいまだに居ます。

生まれは旭川で、幼稚園は5条11丁目までバス通園していましたが、「おもらし」したり（ウンチじゃありません）、園庭の遊具から落ちこちてケガをしたりで（2mほどの高さではしごを横にしたやつ；ウンテイというのでしょうか）、悪い思い出しかありません。伊達紋別町に引っ越したのは小学校入学前です。今の伊達市ですが、子ども時代を過ごすには良い土地だったと思います。温暖で雪も少なく、自転車で町中を走りまわっていました（海辺まで自転車で10分、デパートが1軒しかない中心街まで5分）。自転車といえば、今は夏場にマウンテンバイクで通勤していますが、当時はいわゆるママチャリでした。伊達から室蘭を目指したり（鉄道線路沿いの砂利道で、これは毎回黄金のあたりで撤退）、伊達から有珠山まで行ったりと（こちらは無事往復成功なるも、山腹からの下りでハンドルが効かないほどの恐ろしいスピードが出て、生まれて初めて「死ぬ?」と思った）、結構楽しい思い出が多い町でした。

中学1年で旭川に戻り、聖園中学校に通います。給食の有無を一応確認しましたが、手違いでもあればと母が持たせてくれたのは市販の豆パンでした。ところがこの豆パンが私の聖園中学最初の昼飯になります。伊達紋別町ではしっかりとあった全町の給食体制でしたが、当時の聖園で言う「給食」とは牛乳1本だったのです。かろうじて豆パン1個でその日の命をつなぎましたが、初日から「昼飯豆パン!」と揶揄され、旭川の再スタートは、またまた悪い思い出からでした（電話口で母に「給食あります」と断言したらしいチンチクリンの担任はその後もやっぱり好きになれなかった）。

旭川東高を経て1浪でなんとか滑り込んだ北大医学部では、何を血迷ったか山の会なんぞに入ってほとんど毎週どこかの山にももっていました。雪山で雪庇を踏み外したり（今なら死ぬ!）、たった今登ってきた10mほど後方がスパッと切れ込んで雪崩落ちていたり（最後尾に居た私は「早く上がれ! さっさと登れ!」と焦りまくった）、夏の日高で20mほど滑落して滝壺に落ちたりしました（貴重な経験、などと言っている場合じゃない）。

耳鼻科に入局するラスト押しをしてくれたのは「寿司」です。前述の「山の会」の先輩から昼寿司をおごってもらったのが「決め」でした。以後、医局での1年を経て、函館中央、浦河日赤、苫小牧市立などに赴任しました。外来出張や手術出張では、中標津町立、網走厚生、倶知安厚生、岩見沢市立、砂川市立、滝川市立、深川市立、留萌市立などなど、いろいろと回らせていただきました。その中でもなぜか思い出深いのは上砂川です。今ではもう無くなりましたが、古い学校校舎のような木造で、廊下がやたらと幅広く、診察室もただっ広い板床だったのをよく覚えています。受診者数も10人くらいでした（当時）。きっと炭鉱華やかかり頃は混んでいたのだろうな、昔の病院ってこんなだったのかあ、と妙にココロに染みついています。

旭川市立への（3回目の）赴任にあたっては、前任の安藤先生が私を押しメン（AKB48参照）したと医局では言いますが、安藤先生によれば「手術がそこそこ出来て、性格の悪くはない人」と言っただけだそうです（「性格の良い人」とは言わなかったらしい）。

そんなこんなで、私は今ここに居させていただいております。

編集後記

4月に病院に配属されて以来、新しい出会いで毎日が緊張の連続でしたが、最近ようやく環境になじんできました。新天地には、人格者のドクター達と白衣の天使のナース達が一杯です。自分は欲張って人格者の天使を目指します。

市立旭川病院 地域医療連携課

〒070-8610

旭川市金星町1丁目1番65号

TEL (0166) 24-3181 (内線5370)

FAX (0166) 26-0008

E-mail: renkei@city.asahikawa.hokkaido.jp